

あの光がああ音楽が

きつとわたしのアオハル

ミュージカル

アオハル 青春するべ!

～由利高校民謡部ストーリー～

脚本・演出 鈴木 潤子 音楽 渡部 絢也 振付 三森 渚

チケット 発売日 9/1(日) 10:00～

2024年 12月 1日 日

会場 多賀市民会館 (多賀市民プラザ 2F) 茨城県日立市千石町 2-4-20 (JR常陸多賀駅より徒歩 8分)

開演 14:00開演 (13:30開場) \*上演時間90分 休憩なし

全席指定 一般 4,000円(税込み) 当日券 500円増

\*わらび座の会 (有料会員) の方は 5枚まで 10%割引 ※未就学児の入場はできません。 託児はございません。



わらび座 オンラインチケット

文化庁「劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業」の補助金により、18歳以下の方の招待枠(100席)と同伴保護者の半額券がございます。ご希望の方は右記QRコードからお申込みをお願いします。



チケット販売所 多賀市民会館 0294-34-1727 日立市民会館 0294-22-6481 日立シビックセンター 0294-24-7720 ゆうゆう十王・Jホール 0294-39-7111 わらび座オンラインチケット

お問い合わせ・お申込み ▶日立わらび座をみる会 080-1031-6947 (伊東) ▶わらび座公演事業部 TEL 0187-44-3332 (平日 9:30～17:00) FAX 0187-44-3318

主催：日立わらび座をみる会 / 一般社団法人わらび座

後援：茨城県 / 茨城県教育委員会 / 日立市 / 日立市教育委員会 / (公財)日立市民科学文化財団 / 非営利法人茨統教育研究会



アオハル  
「一生、青春!元気ができました」「未来の笑顔にカンパイ!」わらび座最新作  
青春ミュージカル、待望の全国ツアー

未来の笑顔のために!

未来の笑顔が 背中を押す  
ほら精一杯 歌え 踊れと  
未来の笑顔が 励ましてくれる  
心を込めて 笑顔で歌えと

高校生たちのドキドキ・クヨクヨ・キラキラストーリー!

高校二年生のさくらは、亡き母のふるさと、由利本荘市へ転校してきた。ひよんなつながりで同級生あやめから民謡部に誘われ、入部してしまう。施設の慰問公演や全国大会での優勝をめざして、部長のあやめを中心に厳しい部則の中、日々の部活動が始まった。初めての慰問公演は大雨。さくら、けやき、ぶっちの三人しか時間に間に合わず、出来る事をやろうとがんばるが大失態。その上、祖母のキジが突然倒れ入院。もう民謡部は続けられないと言うさくらに、民謡部の仲間がかけた言葉は……。そして県大会当日、思わぬ事態に民謡部の仲間が選択したことは……。  
(この物語は、秋田県立由利高校民謡部への取材に基づくフィクションです)

**CAST** さくら / 佐々木 亜美 けやき / 深谷 雅之 あやめ / 山田 愛子 キジ・めがね / 小松 詩乃 ぶっち / 平野 つくし  
**STAFF** 脚本・演出 / 鈴木 潤子 音楽 / 渡部 絢也 振付 / 三森 渚 美術 / 高橋 知佐 照明 / 井田 宗幸 音響 / 佐藤 亜希子  
衣裳 / 市橋 幸恵 小道具 / 平野 忍 演出助手 / 飯野 裕子 振付助手 / 丸山 有子 舞台監督 / 堀木 春花

脚本・演出 鈴木潤子メッセージ

生まれたての葛藤がたくさんあった青春時代。思いを正面から仲間とぶつけあって、苦しみも痛みも感じながら人を知っていきました。自分の限界を知ったのも、可能性も知ったのもあの頃でした。傷だらけで恥ずかしい思い出たち、だけどそれは今も私に力をくれています。今絶賛アオハル中の人に、そしてアオハルを経験したすべての大人たちと、これからアオハルを過ごす子供たちに、あの頃のように、この作品で正面からぶつかりたいと思って創りました。観終わった後、何もかも青かったときのような心の躍動を感じ、そしてあなたの心の音楽が聴こえてきましたら幸いです。



劇団わらび座

〒014-1113 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田430  
〈TEL〉 0187-44-3332 〈FAX〉 0187-44-3318  
〈Mail〉 info@warabi.or.jp  
〈WEB〉 <https://www.warabi.jp/>

**わらび座とは** 1951年の創立以来、日本の民族芸能をベースに、多彩な表現で現代の心を描く日本のミュージカルを多数制作上演している。複数の公演グループで年間約600回以上公演を行っている。海外公演実績は19ヶ国におよぶ。本拠地である秋田県仙北市の「あきた芸術村」のわらび劇場では、オリジナルミュージカルを上演、温泉やホテル、クラフトビールブルワリー、工芸品体験工房が立ち並ぶ。あきた芸術村の教育旅行受け入れは40年以上の歴史を持ち、毎年150校の子どもたちが来村している。近年は、演劇スキルを用いた「シアター・エデュケーション」を実践し、コミュニケーション力向上を目指す。多くの企業、団体、教育機関に受け入れられている。2021年に一般社団法人化、創立70周年を迎えた。